

豊洲問題追及 共産党三つの力

高まる世論 百条委設置

東京都築地市場(中央区)の豊洲新市場(江東区)への移転計画をめぐる数々の疑惑を調査する都議会の百条委員会は、11日から証人喚問が始まりました。この間、日本共産党都議団が移転計画をめぐる疑惑を一貫して追及する中で、小池百合子知事は移転延期を決断。共産党都議団が百条委員会設置を繰り返し提案する中で、都議会に百条委員会が設置されました。都政と都議会をリードしてきた共産党都議団の三つの力が光ります。

(東京都・川井亮、細川豊史)

独自の徹底調査力

共産党都議団は、石原慎太郎元知事の下で、豊洲移転計画がスタートした当初から、独自の現地調査や開示請求で入手した公文書の分析、関係者への聞き取りなどを重ね、問題点を告発・追及してきました。

都民とともに 東京都政を前へ 共産党都議団の実績

百条委員会が焦点となっている問題の多くは、共産党都議団が追及してきた疑惑です。

共産党都議団の調査力が、一躍メディアや都民に注目されたのが、昨年9月、豊洲新市場の主要施設の地下で土壌汚染対策として行われるはずの盛り土を行わず、地下空間を造り土を行わず、地下空間を造



豊洲新市場の地下の写真パネルを示して記者会見する日本共産党東京都議団=2016年9月12日、都庁

っていたことを突き止めた活動でした。

さらに、共産党都議団は、石原元知事らが、移転予定地(東京ガス豊洲工場跡地)を所有していた東京ガスグループ盛りの土と並んで都が土壌汚

重大責任 公明党を支えた「闇」の都政

「安全は確保」「一刻も早く」と移転促進

チェック機能果たさず

都議会で何らチェック機能を果たさず、豊洲移転計画を強引に進める石原慎太郎、猪瀬直樹、舛添要一の歴代知事3人を支えて、都政の「闇」をつくってきたのが、自民、公明です。

01年2月、石原知事(当時)が豊洲移転方針を打ち出した時、都議会で自民党は「積極的に豊洲への移転を進める必要がある」と、公明党は「日も早く整備がなされるよう努力されたい」と、後押ししました。

08年、新市場予定地の土壌から、環境基準の4万3000倍もの発がん性物質ベンゼンや、検出されはならないシアン化合物が高濃度で検出され、ヒ素、水銀も見つかりました。

都は10年3月に、汚染土壌処理実験(これを環境基準以下に浄化した)を発表しましたが、同年7月、共産党都議団の追及で、都は環境基準のわずか2・7倍の汚染土壌を使って実験し、「浄化できた」と都民を欺いていたことが発覚しました。

それにもかかわらず、自民、公明は何の追及もせず、「豊洲新市場予定地は市場用地として十分安全・安心が確保されている」(同年10月、自民党)と都の対策を絶賛。

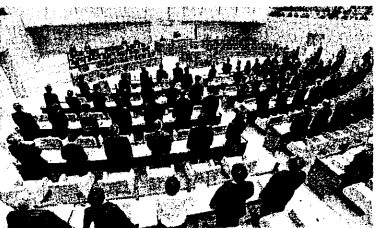
「豊洲新市場の整備に一刻も早く着手すべきだ」(同、公明党)と、豊洲移転を強力に促進してきました。

16年9月に共産党都議団が、主要建物下に盛り土がなく、地下空間が存在することを突き止め、都政を揺るがす大問題となったあとも、自民は「この難局をぜひ乗り越えていただきたい」と都に移転を要求。12月の都議会でも小池知事に移転の決断を迫りました。

しかし、今年1月14日、地下水モニタリングの最終結果で、環境基準の79倍のベンゼンなどが検出され、衝撃が走りました。

都議会自民党は、昨年末から今年はじめにかけ、「豊洲新市場の一日も早い開場」との大見出しのヒラを都内各地で配布していました。しかし、今年に入り、自民と公明は「食の安全・安心」を求め、世論と運動の高まりに追い詰められ、共産党都議団が2月6日に再提案した百条委設置に賛成せざるをえなくなりました。

全会一致で豊洲問題の百条委員会設置を決めた東京都議会本会議（2月22日）



安全・安心を何よりも大切にしなければならぬ生鮮食品の市場を、土壌汚染の地へ「移すな」と立ち上がった築地市場業者と労働者、消費者団体、市民、科学者らが取り組むデモや集会にも参加してきました。

共産党都議団は、各分野の専門家や関係者の協力を得て、正確な論戦や建設的な提案を行っています。

染対策の柱としてきた、市場予定地の地下水水位を一定の水位に抑える対策についても、水位が想定通りに下げられない欠陥があることを示すなど、土壌汚染対策が破綻している実態を告発しました。

また、主要3施設の建設工事の入札をめぐる官製談合疑惑も追及。2013年11月に入札不調となった1カ月後に、都が再入札の予定価格を当初の1.6倍の1035億円に引き上げ、大手ゼネコン中心の共同企業体が落札率（入札予定価格に対する落札額の比率）99.9%で受注していた事実を示して、疑惑の検証と入札制度の見直しを求めました。

共産党都議団は、独自の調査と都民の運動と結んで豊洲移転計画をめぐる疑惑を追及する一方、都議会が都政の裏走をたたくチェック役としての役割を発揮するよう繰り返して提案してきました。

翌10月の都議会本会議で、共産党都議団は百条委設置の動議を出しました。このときは、自民党、公明党、民進党現・東京改革議員団、かがやけTokyo、現都民ファーストの会、生活者ネットワークなどが反対し否決しました。

都民と共同する力

共産党都議団は豊洲移転計画が明らかになった当初から、一貫して移転反対を掲げ、食の安全・安心を求める市場関係者や都民の運動と共に

同してきました。1999年12月に「築地市場移転に断固反対する会」が開いた総決起大会には共産党都議団の代表も出席。「食の

共産党都議団は、各分野の専門家や関係者の協力を得て、正確な論戦や建設的な提案を行っています。

共産党都議団は、各分野の専門家や関係者の協力を得て、正確な論戦や建設的な提案を行っています。

解決策提案する力

共産党都議団は、独自の調査と都民の運動と結んで豊洲移転計画をめぐる疑惑を追及する一方、都議会が都政の裏走をたたくチェック役としての役割を発揮するよう繰り返して提案してきました。

翌10月の都議会本会議で、共産党都議団は百条委設置の動議を出しました。このときは、自民党、公明党、民進党現・東京改革議員団、かがやけTokyo、現都民ファーストの会、生活者ネットワークなどが反対し否決しました。